



国際協力60周年

外務省後援



国際協力60周年

国際協力 60 周年記念事業公開講演会

人道支援の今日的課題

～「世界人道サミット」北・南東アジア地域準備会合の日本開催にむけて～

【開催日時】 2014 年 6 月 27 日（金） 18：30～20：00

【場 所】 立教大学（池袋キャンパス）太刀川記念館 3 階多目的ホール

東日本大震災を経験した日本において、緊急人道支援は今や自国の最重要課題の一つであるが、国外においては紛争、自然災害、急速に進む人口増加、なかなか克服されない貧困、そして気候変動の影響で、毎年より多くの人々が人道支援を必要としている。国連の潘基文事務総長は、任期 2 期目の国連総会での所信表明にあたり「世界人道サミット」開催を提唱した。これは人道支援の世界規模の課題に立ち向かい、国際人道支援をより効果的かつ幅広い参加を伴うものにしようという試みであり、2016 年にトルコで開催される本会議に向け、準備プロセスが本年よりスタートしている。

準備プロセスにおいて、日本政府はインドネシア政府とともに 7 月 22－23 日に東京で開催される北・南東アジアの地域準備会合のホスト国となっている。この地域準備会合には域内 16 カ国の政府、地域機構、人道支援団体、市民社会、民間企業など約 100 名が参加予定である。

21 世紀社会デザイン研究科では、この会議の国連側の担当機関である国連人道問題調整事務所と共催で、世界人道サミットを周知するとともに、人道支援の課題解決の重要性を広く訴える公開シンポジウムを開催する。

〈講 師〉 伊藤 毅 : 外務省国際協力局 緊急・人道支援課長
渡部 正樹 : 国連人道問題調整事務所 神戸事務所長

〈司会・報告〉 長 有紀枝 : 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科/社会学部教授

申 込 : 所属、氏名、e-mail アドレス、シンポジウム開催日を記載のうえ、以下専用アドレスあてに申し込み : humanity@rikkyo.ac.jp

主 催 : 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 / 社会デザイン研究所

共 催 : 国連人道問題調整事務所 (OCHA) 神戸事務所

協 力 : 特定非営利活動法人 難民を助ける会

後 援 : 外務省

受 講 無 料 / 申 込 要

対 象 : 21 世紀社会デザイン研究科学生、本学学生、教職員、一般市民

問合せ先 : ・ 21 世紀社会デザイン研究科委員長室

TEL03-3985-2181 (月～金 11:00～18:00)

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科は
現代社会の求める「NPO/NGO」と「危機管理学」を学べる日本で初めての大学院です